

汚染水の海洋放出受け入れ発言にかかる緊急抗議

松井大阪市長の汚染水の海洋放出受け入れにかかる発言及び吉村大阪府知事のこれに同調する発言は、絶対に許されない。大阪の漁業者を代表して、断固反対するとともに、撤回を求める。

国内外での風評被害の広がりなど、大阪のみならず兵庫も含めた大阪湾、瀬戸内海での漁業の将来に与える影響は計り知れない。

大阪湾は、温暖化による海水温の上昇による影響、北部海域での富栄養化による赤潮の発生と南部海域での貧栄養化、繰り返す夏場の貧酸素水塊の発生、近年特に長期化する貝毒の発生など、現状でも様々な課題を抱えている。その中で昨年は例年に比べ漁獲量が大きく落ち込むなど、大阪の漁業にとって厳しい環境が続く中、漁業者は、資源管理の取組みを進める一方、鮮度を維持する取組みを通じて魚価の向上を図るなど、懸命の努力を行っている。

このように頑張っている漁業者に冷や水を浴びせるような大阪市長や知事の今回の発言は、例え仮定の上での見解であったとしても、決して許されるものではない。

大阪府漁連とこれに参画する各漁協は、これまで大阪府・市との信頼関係のもとに対応を進めてきたにもかかわらず、このような発言は、大阪市長・知事個人にとどまらず、大阪府・市に対する信頼関係を崩壊させかねない深刻な事態である。

松井大阪市長及び吉村大阪府知事の発言の撤回を強く求めるとともに、漁業者、市民・府民の理解を得られない汚染水の海洋放出は絶対に行わないよう強く要求する。

令和元年 9 月 18 日

大阪市長 松井 一郎 殿

大阪府知事 吉村 洋文 殿

大阪府漁業協同組合連合会

会長 岡 修